

複数武道種目授業

実践の紹介

「武道推進モデル校」事業を活用した 複数種目（柔道・剣道・空手道）の実践

長崎県佐世保市立日野中学校
教頭 荒木 義輝

佐世保市の北西部に位置する本校は、自然美あふれる南九十九島と隣接し、商業地区・漁業地区・住宅地区および田園地区から成り立っている。平成13年4月、県下一のマンモス校であった相浦中学校区の約半分と愛宕中学校区の一部を分離・合併して新設された。

校舎は21世紀の開校にふさわしく細部にまで配慮の行き届いた教育環境となっている。校区は佐世保市総合グラウンドや野球場、体育館などの体育施設が整備された文教地区である。

本校は重点スローガンとして「あいさつ、日本」「あきらめない心」を掲げ、日常の教育活動にあたっている。本稿では、「武道推進モデル校」事業を活用した本校での柔道、剣道、空手道の授業を紹介する。



本校校舎全景

1. 3年目の「武道推進モデル校」指定

令和元年度、本校は長崎県教育委員会より「武道推進モデル校」の指定を受けた。武道の授業（空手道）に外部指導者を活用し、教員との連携により「柔道」「剣道」「空手道」の複数の武道種目を実

施し、生徒が多様な武道種目に触れる授業の実践研究を行った。

長崎県では令和元年より県内3校を指定し、課題を明らかにしてその改善に向けた方策を検討するため、柔道・剣道・相撲とそれ以外の種目を1種目以上選択し研究を図ってきた。

本校の空手道の授業は、外部講師として佐世保市尚武館館長（師範）の安里廣之氏をお招きし、年間8時間を目安に基本の型などを学習してきた。本校では従来、柔道と剣道を選択して学習してきたが、空手道を加えることによって連続して武道を学習することになり、生徒に武道共通の基本動作の重要性に気づかせた。それによってスムーズに授業が実施できるようになるとともに伝統的な考え方やなどの理解につながった。

3年目の令和3年度は「GIG A（ギガ）スクール構想」に基づき、生徒一人一人に配備されたタブレット端末を活用し、視覚的な理解を促すことで生徒の武道への関心をさらに高めるよう工夫した。

2. 複数種目の学習効果

佐世保市では、武道の必修化に伴い柔道を選択する中学校が多かった。本校では剣道の経験ある保健体育科の教員が連続して赴任したことから、柔道と剣道の2種目を実施してきた。

空手道を扱うことにより、それぞれの特性により深く触れたことで幅広く理解を深めることができ

た。生徒には「相手を尊重すること」の重要性を気づかせることができた。また、より安全に行うためにはどのようなことに注意すべきかを深く考えさせる機会となった。それにより普段の学校生活においても相手のことを大切にしていこうという態度が高まったように感じる。

3. コロナ禍での授業の実践

新型コロナウイルスの感染拡大により、配慮すべき事項が数多くあった。

それは手指の消毒の徹底とマスクの着用である。体育館の入り口に消毒液を設置し、入館の度に手



空手道の授業

4 令和3年度の空手道授業実践

指の消毒を行った。マスクも常時着用して、できるだけ声を控えて活動したり、生徒同士の距離を保つことを徹底した。また令和2年

度より市内の児童・生徒に配布されたタブレットを活用し、授業を実践することで、興味を持続させ、会話を減らすようにした。

も迅速にアクセスすることが可能になった。さらに、技や動き方について自分が見たい動きを必要に応じて繰り返し視聴できるなど、これまでより個に応じた学びができた。

このように、知識技能の習得にICTの活用は大きく貢献することができた。

■空手道

▽知識と技能習得

令和元、2年度と、私が市の教育委員会の体育担当として武道推進モデル事業を担当して視察した結果を基に、3年目となる3年度は外部講師の安里先生と相談し、型「ゴジュウシホショウ」の習得をテーマに授業を進めた。全8時間の計画で実践し、生徒は安里氏の模範演技の一つ一つを真似をし、仲間と合わせることにポイントを置いて実践した。その様子を動画撮影して生徒一人一人の型の習得に活用し、活動の質を高めることができた。

ICT機器を活用することで情報を整理して蓄積し分析することも可能になった。これにより個々の生徒に最適化された学習環境を用意することが可能になり、問題解決を図ることができた。グループごとに異なる課題についての情報をそれぞれ検索し解決することも可能となった。

主体的に動けるようになりたいです。

■ICT活用の効果

ICT機器を活用することで情報整理して蓄積し分析することも可能になった。これにより個々の生徒に最適化された学習環境を用意することが可能になり、問題解決を図ることができた。グループごとに異なる課題についての情報をそれぞれ検索し解決することも可能となった。

ICTの活用により、生徒は映像やデータから自分自身を客観的に捉えることができたり、その後の課題を明確に設定することができるようになった。私にとっても、ICTの活用により、生徒の

実態や変容について把握しやすくなり、映像やデータを通して子どもたちの状態を確認することで、これまで目が届かなかった生徒ごとの課題や成長に気づくことができる場面が増えた。

■生徒の感想

以下、空手道授業における3年生の生徒の感想を列記する。

・去年より形をたくさん教えてもらったので楽しかったです。
・曲に合わせたことで「空手」の良さに気づくことができました。
・動きはけっこう覚えることができました。キレをもっと良くしたいです。
・先生の真似をして空手の動きができました。友達とも教え合いました。

・次から体育館に入るときなどに、きちんと止まって挨拶しようと思いました。
・体育館に入ってくるときの挨拶ができなかったので、次からは

主体的に動けるようになりたいです。

きます。
・足の動きが難しかったけど、大体の動きは分かってきたので良かったです。

・足と手の動きや後ろを振り返る動作が難しかった。
・武道は礼儀が大切なので何か始める前には礼をするようにしたいです。

・空手の礼儀や作法も学べたので次回も演武を頑張りたいです。
・型を半分覚えることができました。最後の授業で全部覚えたいです。

・型の一つ一つを大きくすることができました。明日は覚えることができようになりたいです。
・2年生のときよりうまくできていたと思います。動きは全然覚えられていないけど頑張っています。

・空手の動きを素早くかつよくすることができました。
・だんだんできるようになりました。
・授業が始まる前に教室と同じように黙想をしようと思いました。

・タブレットで型の動画を見ながら友達と練習することができました。前回よりもうまくできるようになったので、次回ももっとできるようになるよう努力します。



安里氏による空手道の指導



タブレット端末を見ながら型の動きを学習する生徒たち



ICTの活用で生徒は主体的に取り組むことができる

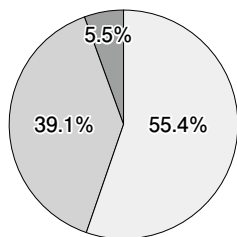
・昨日より型の理解度が高まったのでよかったです。
・音楽に乗って型を行いました。まだ覚えてないところを覚えていいます。
・安里先生に直接教えていただいたので細かい動きがわかりました。また、体をすぐに温める方法もわかりました。

・前よりもかなりできるようになりました。
・3年間、安里先生にお世話になりました。空手の型の技が多かったです。全部覚えることができました。本当にありがとうございます。

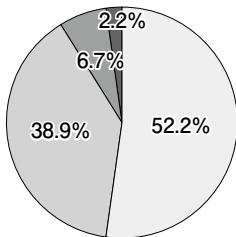
・1年生の時より技のキレが増し、この授業を通してたくさん成長できたと思います。
・15分間、自由に練習した時に、タブレットを使って何度も練習したりして、少しずつ覚えられました。動画を見ながら練習したり鏡を見てフォームを確認したりできたので良かったと思います。

〈生徒への授業後アンケート〉

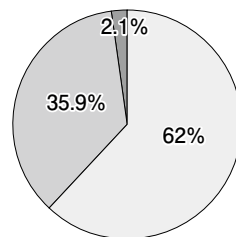
Q1) 武道の授業は好きですか
(回答数 92 件)



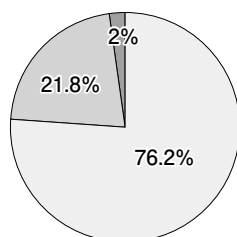
Q2) 空手道をやってみたく
思いましたか (回答数 90 件)



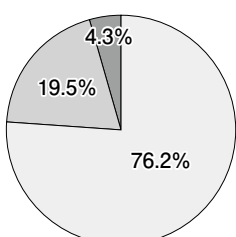
Q3) 他の武道をやってみたく
思いましたか (回答数 92 件)



Q4) 授業では主体的な活動ができ
ましたか (回答数 692 件)



Q5) 授業ではタブレットを活用でき
ましたか (回答数 692 件)



- 好き・思う・とてもできた
- まあまあ好き・やや思う・なんとかできた
- やや嫌い・やや思わない・あまりできなかった
- 嫌い・思わない

5 おわりに

■成果と課題

3年間同じ外部講師だったため、生徒も馴染みが深く、技のポイントなども聞きやすい雰囲気で行うことができた。また、生徒の様子や技の習得状況に応じて段階的な演武を行うことができた。感染症対策も含めて「安全第一」で授業を進め、礼法や基礎・基本の動作を大切に練習を重ねてきた。空手道の指導は専門家の指導が不可欠であることを再確認することができた。

■おわりに

複数の武道を学習することにより、礼儀や技と武道の特性をより理解することができ、生徒の感想からも興味・関心が高まったことがわかる。また、1人1台のタブレット端末を効果的な学びのツールとして活用し、生徒が夢中になって武道に取り組むことができた。学習を通して得られた気づきを伝え合うことで思考力・判断力・表現力を磨き、学びに向かう力を養う授業づくりを今後も進めていきたい。

・3年間、楽しさや礼儀を学ぶことができた。そして、動き方を覚えることができた。
・3年間で習ったいろいろな技を、披露できたので良かったです。

・安里先生の最後の授業で楽しく、最初の授業よりうまくできるようになりました。タブレットも活用しながらみんなで見えることができました。